

海外短信



～ アメリカ ～

カーティス・マルヤス・アメリカ社の紹介

～ マルヤス工業株式会社 ～

カーティス・マルヤス・アメリカはマルヤス工業の米国子会社である。アメリカ合衆国・ケンタッキー州は一般の方には馴染みが薄いですが、広大なブルーグラス（牧草）地帯や日本の様に四季折々に見せる美しい風景が印象的だ。レバノン市はそのほぼ中央に位置する人口6000人弱の小さな町である。住人の多くが知り合い同士で、私たち日本人にも親しく挨拶してくれる。人々の生活スタイルにも牧歌的な雰囲気が漂い、マルヤス工業の従業員にも牧場主や広大な農場を所有しているという人も少なくない。



ケンタッキー牧場の風景

住人にとっての楽しみの一つは、小規模ながらも年に数回、町で開催されるフェスティバルである。地域ながらの特色があり、私たち日本人には観光では味わえないディープなアメリカの魅力を提供してくれる。

中でも有名なのはハム・デーである。例年9月に開催されるが、今年もその準備が始まりつつあり、毎年開催日が近づくにつれて従業員もソワソワして来るのが分かるくらいだ。（どれだけ楽しみにしているのか？とツッコミたくなる程だ）フェスティバルの中心は、その名の通りハム！フェスティバルは3日間で、その間来場者に振舞われる量は約3トンとも言われる。畜産が盛んなこの地域では、冬の保存食として各家庭でハムが作られていたそう。フェスティバルが始まったのは40年程前とのことだが、家庭の味としてハムに特別な思い出があればこそ続いているのかも知れない。

期間中、町のメインストリートは色々な出店の他、コンサートやカラオケコンテスト、自前のアートを披露する人などで賑わう。トラクターのパレードやキッズ・パレードも人気だ。（しかしパレードの距離はすごく短い！）肝心のハムの味

はと言うと・・・口に入れた時には塩辛い印象だが、癖になる味という感じだろうか。但し、ビールとの相性は最高だ。店によって調理の仕方が違うので、食べ比べが出来て楽しい。

アメリカには美味しいものが少ないと言われているが、冒険をすれば、他にも至る所に魅力的なローカルフードがありそうだ。

今はまだ夏の真っ盛り、しかし夏の終わりに開催されるこのハム・デーを心の片隅で楽しみに待つ私たちは、この小さな町の住人になったのだと知らされる。



振舞われるハム



ハムデーの風景